

## 『交差(クロス)の街』折尾

①折尾駅【日本最古の鉄道立体交差、日本最古の立体交差駅】  
1891年:筑豊興業鉄道と九州鉄道が約1km離れた場所で開催。1895年:利便性向上のため現在の位置に2社合同の駅が開業。左右アンバランスな外観と、車窓から駅の正面を見ることができるのが立体交差駅の証明。※新駅でも駅舎が見えるようになる。



日本最古・鉄道立体交差部分 ※折尾駅舎(木造)取壊し:2013年

## ②堀川運河【近代化産業遺産、川と川の立体交差】

1620年から掘り始めた堀川運河は、183年後に完成。「車返しの切貫き」は硬い岩盤で一番の難所であった。峠から川底まで約20m、長さ405m、川幅6.8mを9年の歳月をかけて掘られた。(全長12.1km)



※現在の堀川運河の起点(岩瀬の伏越跡)

## ③昭和レトロな飲食街



遺構:高倉屋、東筑豊高校卒  
(黄色いインカニ/折尾駅東口改札横)

## ④旧西鉄電車・赤煉瓦アーチ高架橋【日本最大級、日本唯一】

1914年:九州電気軌道の高架橋。現存は「ねじりまんぼ」を含む3連(当初9連)「ねじりまんぼ」が通常のトンネルと一緒に見られるのは折尾のみ。土木史の教科書的存在(違いが目瞭然と解る)

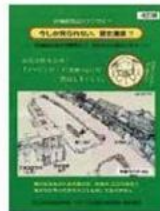


「まんぼ」は関西の方言でトンネルのこと



「ねじりまんぼ」加重均等化のためアーチ部分の煉瓦が斜めに積まれている。

## 折尾の情報が満載!隠れた魅力発掘!!



### 折尾駅周辺タウンガイド

～戦火を逃れた歴史遺産の記録～  
(制作:学園&地域交流ネットワーク)

折尾を交通の要衝とし、造りの都として繁栄させ、学園都市にした、先人達の「奇想天外な発想と不屈の精神」情報満載の折尾駅周辺のタウンマップ。【改訂版】  
<http://friestar.com/sub5.html>



### 折尾の歴史や文化の紹介(動画含む)

堀川運河、折尾駅(日本初の立体交差&立体交差駅舎)、西鉄電車赤煉瓦高架橋等の情報が満載。  
<http://friestar.com/sub11.html>



### 折尾のまちづくり ～私たちの願い～

新しくなる折尾の街への寄稿文、まち歩きやワークショップでのご意見やご要望等を紹介。  
<http://friestar.com/sub12.html>



### おりおねつ(協同組合折尾商連)

折尾の街の情報発信サイト。折尾の見聞、イベント、お店紹介、折尾名物・お土産などを紹介。【検索:おりおねつ】  
<http://orionet.info/wp/>



### 折尾総合整備事業(北九州市)

折尾駅周辺の①鉄道高架化、②街路整備、③土地区画整理の3事業を一体的に実施。様々な折尾の開発の情報が満載。  
[http://www.city.kitakyushu.lg.jp/business/menu03\\_00004.html](http://www.city.kitakyushu.lg.jp/business/menu03_00004.html)



### 問合せ:「若者と織りなす×石炭ロード」プロジェクト

「もっと折尾の魅力を知ってほしい!折尾の誇りを未来に繋いでいきたい!」と様々な方にご協力頂きながら活動しています。【参加者・参加団体募集中!】事務局:090-2710-6810(マキタ)【検索:折尾で語り場】  
<https://www.facebook.com/oriokatariba/?fref=ts>  
発行:夢漁塾9期Bチーム(折尾で語り場)

【発行:2016年1月】

## 折尾に来ちゃらんね!



学生が多い街、日本近代化産業を支えた  
折尾の誇りを次世代に!

若者と織りなす×『石炭ロード』

「北九州市生きいき長寿推進協会」助成事業

## 筑豊からの『石炭ロード』が「日本近代化産業」の扉を開いた



1840年頃、筑豊地方で掘られた石炭は川ひらたに積み重ね堀川運河を通り若松へ運ばれた。



1891年:石炭を、早く大量に運べる「筑豊興業鉄道」が開通。石炭輸送は、「川ひらた(水運)」から「鉄道(陸運)」に変わり、1938年:川ひらたは姿を消した。

